

献呈のことば

平成4年3月31日、山中均之先生は甲南大学経営学部を退職されました。先生は、昭和42年4月甲南大学理学部経営理学科に教授としてご着任、52年4月経営学部に移られ、以後ご退職まで教育、研究その他に誠心誠意尽くされました。

先生のおが国商業学、マーケティング論などの学会で占められる地位については、いまさら多くを語る必要のないところであります。長期にわたる日本商業学会、日本マーケティング・サイエンス学会での理事としてのご活躍、また昭和61年5月の日本商業学会副会長のご就任が、何よりも学会における先生の権威の高さを示しています。そして、その権威は、日本商業学会賞に輝く『マーケティング・モデル』（昭和39年8月）をはじめとする著書5冊、共著17冊、論文81編、資料115編という膨大な研究業績に裏づけられております。その中には、昭和46年2月、先生が神戸大学から商学博士の学位を取得された『マーケティングにおけるロイヤルティの研究』も含まれています。

先生の甲南大学における功績は、もちろん研究、教育の面に留まりません。昭和53年6月および昭和62年10月には大学会議員、昭和57年には経営学部長、そして昭和59年4月には就職指導部長にそれぞれ選ばれて就任され、学部ならびに大学行政に多大の貢献をされました。平成4年4月、甲南大学は、以上、25年間にわたる先生の諸業績に対し名誉教授の称号を授与しました。また、先生は審議会会長など学内だけでなく学外の社会的活動でも大いに活躍されました。しかし、紙幅が尽きたいまそのことに触れる余裕はありません。

2 献呈のことば

経営学部教授会は、ここに経営学会を通じて本書を先生に献呈し、心から
そのご退職を惜しむ次第であります。

経営学会長 北 澤 康 男